がん研究会　情報公開文書

単施設研究用

IRB番号「2023-GB-050」

**研究課題名「びまん性大細胞型B細胞リンパ腫(DLBCL)患者における
R-CHOP療法施行前のステロイド投与が予後に与える影響の後方視的観察研究」**

１．研究の対象

2010年1月1日から2023年3月31日 までに当院でびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫のR-CHOP療法もしくはR-CHOP類似療法を受けられた方。

２．研究の目的・方法

びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫に対する標準治療は、リツキシマブ、シクロホスファミド、ドキソルビシン、ビンクリスチン、プレドニゾロンを用いたR-CHOP療法です。実臨床では病勢進行が速い場合、R-CHOP療法を導入するまでの病勢コントロールを目的として、しばしばステロイドが投与されることがあります。しかしながら治療開始前のステロイド先行投与が予後に与える影響について明らかなデータはありません。また近年、診断から治療までの期間(Diagnosis-to-Treatment Interval: DTI)が予後に影響する可能性が示唆されていますが、実地診療のデータの集積に関しては十分ではありません。本研究の目的は、びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の患者さんの経過を調べ、ステロイド先行投与やDTIとその後の経過の関係を明らかとすることです。研究方法は診療情報や治療経過を診療録や血液腫瘍科データベースより取得し調査します。

３．研究期間

承認日　～　2027年06月06日

４．研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。
情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況等
試料：使用予定なし

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人　がん研究会有明病院
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号
研究責任者　血液腫瘍科　部長　丸山 大
連絡先：電話番号03-3520-0111(代表)　FAX番号03-3520-0141